

広報



手作りの縁起物で 福を呼ぶ！



子育て支援センター「ばれっと」の親子工作教室「おもしろいな」が、12月18日におこなわれました。この日は海老に金扇、松竹梅と、めでたいもの尽くしのお正月飾りを色紙で制作。にぎやかな縁起物で、今年も良い年になりそう！



令和2年

1

No. 707

謹賀新年

「おらえのずんつあろくじゅうになんなだどとすゆわいしてけんなどここんどのにずようびだ」、友人の顔は誇りに満ちて輝いていた、小学校2、3年生のころの通学途中の会話だ。今や米寿88歳がスタンダードの時代になった。友人も「ずんつあ」を越えて10年余、「もうすこすで88だな、100までがんばるえべが」……、伝統には重みがあつていい。還暦のお祝いは今も踏襲され、同級会などでも一大行事として続いています。88歳の年まで28年ほど、否、未来永劫、大江町の隆盛を持続連続する力への新しい萌芽が「還暦祝い」に張りつき伸びています。天空に輝く星になられた方々を含めて、今日の大江町を成し得られました諸氏に感謝と御礼を申し上げます。昨日

年の大江町誕生60周年を祝う催事に多くの町民のご参加をいただきました。「還暦」の年、「今までと今」、「今とこれから」の道に、「もの・ひと・しごと」がどう関わってきたのか、関わっていくのか……、万人万感の思いの令和元年ともなりました。旧年のご厚情とご指導、誠にありがとうございました。令和2年、新しい年号で始まる最初のお正月であります。東開けた大江町の遠方、蔵王の山々が天と地を分け、西には白衣に身を固めた朝日の山々の頂が町を睥睨し、「今年は今和の新しい力で一層気分を高め、多くの方々が夢と希望の実現に歩みを進められ、成功体験談が町内に溢れるような思いを懐深く受け止める」ように裾野を広げ、泰然不動の姿を見せています。

今年もよろしくお願い申し上げます。
あと5年 令和7年
昭和の100年
昭和は遠く
なりにけるかも
昭和100年が近づいています。昭和・平成・令和、時は確実に流れています。瞬時を大切に、一時の楽しみで、体と心を慈しみながら、語り語り合い、支え支えられ、明るい点に向かって、皆と一緒に、皆の中で、自分のために、皆のために、厳しいときにはユーモアで、

歩いて、働き、走って遊んで、掛け声掛け合い、進んできた一世紀であります。トライアンドエラーを糧にして、負けずにめげずに歩いてきた100年間、ただただ「すごいことだな」と思わざるをえません。大江中学校3年生の林風花さんが「感謝税」という作文の中でこう書かれています。「日本人で日本に住んでいるかぎり、日本の成功も失敗も過去も未来も、自分のことなんだという自覚を国民の全員が持ちたい

ところだ。日本の平和な未来を、本当に望んでいるのならもつとこの大きな問題を国民に認識させ、税金の本当の必要性を、理解したうえでしっかり納税してもらおう。それが出来たら、日本の未来への不安は大幅に減るかもしれない」
実に、誇らしく・うれしく・明るく、読ませていただきました。北欧のグレタ



大江町長 渡邊 兵吾

令和2年 新春のごあいさつ

さんは、地球の温暖化対策で大人の怠慢を鋭い言葉で指摘し、当たり前の純粹な柔らかい思考で「真実」を突きつけ、地球上のすべての「生きとし生けるもの」への「幸せの公平還元」と、「生きられる環境」と「安心平和の国構え」を求めています。

「失敗は成功の母である」のは間違いないように思えます。「幼児が自転車に乗れるようになるまでの試行と錯誤」にも似た、成功と失敗の繰り返しの歴史が、令和2年の今につながります。繰り返しの中とはいえ、一方では、錯誤にも程度があつて、74年前にも「あやまちは二度と繰り返しませんから」と平和主義不戦の誓いをたてざるを得ない最大の惨劇もありました。「戦争は国を豊かにしない、破壊破滅させるだけだ。三度の食事と家族そろつての故郷の暮らしがあれば良い」と中村哲医師が語られたような、繰り返しを許してはいけない錯誤には、敢然と対峙してゆくという覚悟を、若い世代が発信し

ている世界の源流が見えてきています。

オリンピック、パラリンピックの主な会場が姿を整えています。見るオリンピック、聞くオリンピック、参加するオリンピック、世界のスポーツのメイクドラマで、勝者と敗者の表情、選手を支える裏方さんのご苦労、応援団の盛り上がり、試行しながら失敗を乗り越えて大舞台に立っている姿には、息も止まるほどの感動があります。令和2年の日本と大江町、「日本と日本人に元気を与えたい」と競技に向かう選手諸君に、「ありがとう、頑張れ日本」と拍手を贈りたい。そして私たちも、「頑張りすぎないように頑張るから」と大きな声を届けたい。

山は友 川に友あり
どこでもいつでも
土の友たれ 町が友たれ

「世界全体が幸せにならないと、個人の幸せはあり得ない」と念しながら、良いお年になりますようご祈念申し上げます。

「おおえ検定を実施する会」が主催する「舟唄の里」おおえ検定」が、12月8日にまちなか交流館A T E R Aでおこなわれました。この企画は、町誕生60周年を記念して、より多くの方に本町のことを知っていただくとう企画されたものです。検定には町内外から26の方が挑戦。うち22人が合格し、合格証と「大江マイスターバッジ」が贈られました。

問題を作成したのは、観光ボランティアガイドの会会長の石川博資さん（葛沢）。「今回は『大江町を鳥瞰する編』としました。今後も内容を変えて何回か実施していきたいです」と話していました。

検定問題は全部で50問。内容は本町の歴史や文化、地名、産業など多岐にわたります。今回は新春号特別企画として、実際の問題の中から10問を抜粋して掲載しました。お正月のお茶の間ぜひ挑戦してみてください。



問題6

ヒントは
上の写真!

戦国時代といわれる西暦1500年代後半は、山形の最上氏と米沢の上杉氏がらみ合いを続けていました。庄内地域は上杉領であり、上杉氏は最上領を通ることを避けるためひそかに山に軍道を作りました。さて、この道はどこに作ったのでしょうか。

- ①月山 ②朝日連峰 ③奥羽山脈



問題7

町内には面白い地名が多く「十八才」はその代表格ですが、なぜこのような地名になったのか、説はいろいろです。四国の徳島県に「十八女」と書いて「さかり」と読ませる地名があり、どうもこの辺にヒントがありそうです。さて、有力な説はどれでしょうか。

- ①若者が多く、いつも盛んな様子から十八歳ごろが一番ということで「十八才」と名付けた。
②小倉山に城があり若い美しい姫がいた。若い衆は競って姫の顔を見に行ったが、いつも「十八才」の者だけ一番に城に着いたから。
③この集落に入るには谷を下り、下れば坂を上らなければならず「坂上がりの部落」と呼ばれ、いつの間にかそれが詰まって「さがり部落」となり、イメージが悪いため、人が一番盛りの時期は「十八才」ではないかとしてこの地名にした。

問題8

町内には、松保の大杉、小新の神代カヤ、矢引沢の大杉といった千年以上の巨木があります。さすが千年以上となると圧倒される大きさです。正確な樹齢は分かっていませんが、1000年から1500年といわれています。仮に1500年として、これらの巨木がまだ幼い木だったころ、日本はどんな世の中だったのでしょうか。

- ①仏教伝来や聖徳太子のころ ②神武天皇のころ ③平安時代ごろ



問題9

町内の農産物は優良です。消費者からの評判も良く、特に果樹は多くの樹種や品種が生産されています。では、生産額の多い順に並べると次のどれでしょうか。

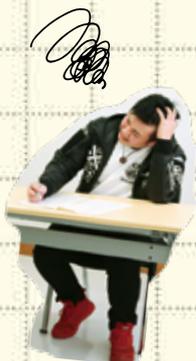
- ①西洋なし、りんご、ぶどう ②りんご、西洋なし、すもも
③りんご、すもも、西洋なし ④りんご、西洋なし、もも



問題10

町内で取れた産物の捨てる部分を活用して、新たな民芸品が生み出されています。さて、それは何でしょうか。

- ①西山杉の廃材での炭 ②桃の種を活用した民芸品 ③野菜を加工した漬物



※結構難しいです。

Let's Try!

おおえ検定



※答えは10・11ページの下にあります。

問題1

昭和29年（1954年）、本郷村と七軒村とが一緒になって漆川村ができ（月布川の古名を取り漆川村と名付けた）、その漆川村と左沢町が昭和34年（1959年）に一緒になったことで大江町が誕生しました。さて、「大江町」の名前のもとになったのは何でしょうか。

- ①最上川 ②月布川 ③日本一公園 ④最上橋



▲12月8日、検定合格者に石川会長から合格証などが手渡されました

問題2

江戸時代になると「左沢藩」という新しい藩がつけられました。殿様は酒井氏といい、庄内藩の殿様の弟の直次という人でした。酒井の殿様の親類には、誰でも知っている日本の有名な殿様がいます。さて、この殿様は誰でしょうか。

- ①伊達政宗 ②上杉謙信 ③徳川家康 ④最上義光

問題3

左沢城下町にはいろいろな地名があります。御免町は「ごめんまち」と読みますが、なぜこの名が付いたのでしょうか。

- ①職人や商売人を早く多く住まわせるため税金や労力提供を免除したから。
②城に近い町だったので殿様に氣遣って「ごめんごめん」と言って通ったから。
③仲良く暮らすためにお互いに氣遣って「ごめんごめん」と言い合っていたから。



問題4

旧最上橋は周囲の景観にマッチしたアーチ型で、その姿はたいへん美しいものです。最上川に架かる約80橋の中でも最も優雅な姿を今に残しています。さて、このコンクリートの橋はいつ造られたのでしょうか。

- ①昭和10年 ②昭和15年 ③昭和20年 ④昭和25年



問題5

左沢線ではS L（蒸気機関車）が日常的に走っていました。最後に走っていたS LはC 1 1 3 2 5号でした。年輩の方の中には通勤通学に利用した方が多くいて、懐かしむ人は少なくありません。では、このS Lはいつまで左沢線を走っていたのでしょうか。

- ①昭和36年 ②昭和40年 ③昭和45年 ④昭和47年



いじめをしない強い子になろう！

11・23 体育センター



チャリティープロレス開催



「あなたのレスラース」代表
大谷晋二郎 選手



南陽市出身
井上京子 選手

一般社団法人「あなたのレスラース」主催のチャリティープロレスイベントが、11月23日に体育センターで開催されました。同団体は各地でプロレスを通じていじめ撲滅を目指す活動を展開しており、今回のイベントはその運動に共感した齋藤美智子さん（山崎）の誘致により実現。同団体代表の大谷晋二郎選手、南陽市出身の井上京子選手など、人気プロレスラーが出演し、子どもたちの声援を受けて熱戦を繰り広げました。会場内の募金箱に寄せられた募金は、町社会福祉協議会へ全額寄付されました。



12月2日、集まった募金が齋藤美智子さんの手で寄付されました



令和元年度 公益社団法人日本PTTA全国協議会表彰

優良PTTA文部科学大臣表彰

本郷東小学校PTTA (会長 鈴木 憲さん・美郷)



公益社団法人日本PTTA全国協議会の年次表彰式が11月15日に東京都内でおこなわれ、本郷東小学校PTTAが優良PTTA文部科学大臣表彰を受賞しました。同省では、PTTAの健全な育成と発展のために、優秀な実績を上げているPTTAを表彰しており、県内では本郷東小学校PTTAを含め2団体が表彰されています。

本郷東小学校PTTAでは、前年度の活動の課題をもとに目標と重点を毎年度設定。事前準備や打ち合わせを効率的におこない、行事終了後にアンケートなどを実施して次の活動に生かしています。また、地域の皆さんの協力を得て米作りや青苺栽培などの活動に取り組み、「川の楽校」やスキー教室といった自然体験活動における安全確保などのサポートもおこなっています。さらに、児童のスマートフォンやゲーム機器といったメディアへの依存を防ぐため、親子での読書や料理、昔ながらの遊びを学ぶ「だがしや楽校」などの特徴的な活動を実施しています。

「子どもたちにはゲームなどのメディアから離れてもらい、地域や自然の中での活動を通して、強い心と健やかな体を持った大人に育ってほしいです」と話す会長の鈴木さん。今後学校と保護者、地域が一体となった活動で、子どもたちの心身が豊かに育まれていくことが期待されます。



議会 第4回定例会 town council

令和元年第4回大江町議会定例会が、12月3日から12日までの会期で開かれました。今定例会では、平成30年度の各会計決算の認定や今年度の各会計の補正予算、条例の改正などについて審議され、原案どお

り可決・承認されました。その内容の一部をご紹介します。

行政報告

職員採用試験について

令和2年4月採用予定の町職員の採用試験については、9月22日に1次試験、10月20日に2次試験をおこないました。最終的に初級行政合格者の2名の採用を予定しています。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員について、令和元年12月14日をもって任期満了となる三沢司氏(6区)の後任として、渡辺光弘氏(諏訪原)が選任されました。任期は、令和4年12月14日までとなります。

補正予算

令和元年度一般会計補正予算(第3号)が可決され、歳入歳出にそれぞれ6060万円を追加し、今年度予算の総額は52億9270万円となりました。

スペシャル献立で60周年を祝う

町内の小中学校を対象とした特別給食「町誕生60周年記念事業おめでとう献立」が、11月29日に実施されました。この献立は、町誕生60周年を機に子どもたちにふるさとの味に改めて親しんでもらおうと、左沢高校の農業愛好会の生徒によって考案されたものです。

献立の内容は、やまがた地鶏を使ったチキンライスに、真麻ひやむぎのサラダ、オムレツ、パンプキンスープ。町産の食材を使用して栄養バランスも考慮し、野菜嫌いな子どもでもおいしく食べられるように工夫されています。なおかつ、給食が楽しいものになるよう、見た目にも早く食べたくなるようなメニューとして考えられました。給食の時には、高校生からの「皆さんに喜んでもらえるように考えた献立です。ぜひ食べてください」とのメッセージが各学校で放送されました。

山盛りのチキンライスなど色鮮やかなメニューを前に、子どもたちの気分も高揚気味。香りも食欲をそそる特別な給食を、おいしそうに味わっていました。



▲左沢高校農業愛好会の生徒が考案した「おめでとう献立」



▲大江中学校の給食風景。ひと味違う献立を楽しく味わっています

藤田に新しい町営住宅が完成

若い世代の定住促進のため、今年度藤田地区に整備を進めていた町営住宅が、12月上旬に完成しました。「大花住宅」と名付けられた新しい町営住宅は、町営西原住宅などと同様に木造平屋建てで、戸数はA棟・B棟の2棟合わせて6戸です。

住宅の完成に伴い、下記の日程で内覧会を開催します。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

◆日時／令和2年1月19日(日)10時～15時



INFO 町営大花住宅の入居者を募集します

◆募集戸数／6戸

大花住宅A棟1～3号、B棟1～3号
(木造平屋建て 2LDK 面積64㎡)

◆所在地／大字藤田425番地

◆応募の条件／

- ①世帯の月額所得が158,000円を超えないこと
- ②現に同居し、また同居しようとする家族がいること

③月額家賃19,800円～29,600円(所得によって変動します)

④敷金…家賃の3カ月分

⑤暴力団関係者は入居をお断りします

⑥町内の方を連帯保証人にできる方

◆募集期間／令和2年1月10日(金)～31日(木)

☎建設水道課管理係 ☎(62)2116

INFO

新しい民生委員・児童委員の 皆さんをご紹介します

任期満了に伴い民生委員・児童委員の一斉改選がおこなわれ、12月1日付けで厚生労働大臣より36名の
方が委嘱されました。新しい委員の任期は、令和元年12月1日から令和4年11月30日までの3年間です。



▲12月2日の委嘱状交付式の様子

民生委員・児童委員は困った時の「身近な相談役」 行政や専門機関への「つなぎ役」

- ◎民生委員法および児童福祉法に基づくボランティア。すべての民生委員は児童委員を兼ね、子どもに関する支援活動もおこないます。
- ◎主任児童委員は、子どもに関する支援活動を専門的に担当します。
- ※内容によっては相談をお受けできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

《民生委員・児童委員》

| | 新任 | 委員氏名 | 担当区域 | 電話番号 | 新任 | 委員氏名 | 担当区域 | 電話番号 |
|------|----|-------|-----------------------------------|-----------|---------------------------------------|-------|----------------|-----------|
| 左沢地区 | ☆ | 渡邊 定男 | 木の沢 | ☎(85)3181 | | 渋谷よしえ | 1区、2区 | ☎(62)3150 |
| | | 菊地由美子 | 3区、5区 | ☎(62)3433 | ☆ | 佐藤由美子 | 4区、8区 | ☎(62)2525 |
| | ☆ | 藤野 徹 | 9区 | ☎(62)5038 | ☆ | 井上 美雪 | 蛭水 | ☎(62)5050 |
| | ☆ | 斎藤 内成 | 10区、11区 | ☎(62)2731 | ☆ | 小池 愛子 | 12区 | ☎(62)3237 |
| | | 大谷 茂家 | 13区 | ☎(62)3447 | ☆ | 熊谷 利 | 藤田・上地区 | ☎(62)2720 |
| | | 小原 愛子 | 小見 | ☎(62)3328 | ☆ | 大谷 京子 | 月が丘 | ☎(62)4644 |
| | ☆ | 白田 修三 | 富沢 | ☎(62)4081 | | 門脇 隆範 | 用 | ☎(62)5012 |
| | ☆ | 鈴木 綾子 | 深沢 | ☎(62)5083 | | 稲村 正光 | 伏熊 | ☎(62)4440 |
| 本郷地区 | | 菊地 秀一 | 小漆川、下モ原 | ☎(62)5304 | ☆ | 松田 修一 | みなみ | ☎(62)3292 |
| | ☆ | 公平 和夫 | 若原 | ☎(62)5778 | ☆ | 清野 清吉 | 市の沢、 下北山、山崎 | ☎(62)3790 |
| | ☆ | 清野 節子 | 荻野、堂屋敷 | ☎(62)3013 | ☆ | 大場 陽子 | 諏訪原、望山 | ☎(62)3696 |
| | ☆ | 佐藤 茂美 | 上北山、梨木 原、滝の沢、 葛沢、顔好、 軽井沢 | ☎(62)2767 | ☆ | 佐藤 友弘 | 原、所部、 塩野平 | ☎(62)3581 |
| | | 柏倉 賢二 | 橋上、小新 | ☎(62)4295 | ☆ | 柏倉 正美 | 三合田、 久保、材木 | ☎(62)5233 |
| | ☆ | 大場 栄子 | 十八才、櫛山 | ☎(62)5183 | ☆ | 大泉 良子 | 月布 | ☎(64)2186 |
| 七軒地区 | ☆ | 庄司 静子 | 貫見、小清、 黒森 | ☎(64)2025 | | 鈴木 栄子 | 沢口、 中沢口、道海 | ☎(64)2508 |
| | | 今野 壽子 | 柳川平、 田の沢、矢引沢 | ☎(64)2704 | ※6区・7区、藤田（下地区）、美郷の担当委員は、委嘱のための手続き中です。 | | | |

《主任児童委員》

| 町内 | 新任 | 委員氏名 | 担当区域 | 電話番号 | 新任 | 委員氏名 | 担当区域 | 電話番号 |
|----|----|-------|------|-----------|----|-------|------|-----------|
| | | 堀 和香子 | 全域 | ☎(62)3416 | ☆ | 村松 友子 | 全域 | ☎(62)2134 |

長い間ありがとうございました（令和元年11月末で退任された方）

芳賀 マサ子さん（木の沢）、伊藤 重夫さん（4区、8区）、戸田 健さん（9区）、
大沼 勝由さん（蛭水）、安藤 美智子さん（10区、11区）、庄司 賢治さん（12区）、
萬 千代子さん（藤田・下地区）、鈴木 幹太さん（藤田・上地区）、工藤 利昭さん（月が丘）、
堀 武一郎さん（富沢）、菊地 佳子さん（深沢）、関野 勇一さん（みなみ）、柏倉 康子さん（若原）、
林 いとさん（市の沢、下北山・山崎）、鈴木 庄助さん（荻野、堂屋敷）、
毛利 信枝さん（諏訪原、望山）、佐々木 敬子さん（美郷）、
清野 禮子さん（上北山、梨木原、滝の沢、葛沢、顔好）、渡辺 かずみさん（原、所部、塩野平）、
柏倉 富男さん（三合田、久保、材木）、高橋 美幸さん（十八才、櫛山）、小林 伸広さん（月布）、
前田 雅子さん（貫見、小清、黒森）、中村 裕美子さん（町内全域）

☎健康福祉課福祉係 ☎(62)2285



11/23 お正月をおいしく豪華に

おえ町民大学「ぶくらすカレッジ」の講座の一つである「女子力アップ講座」が、11月23日に中央公民館で開かれました。今年度4回目となったこの日は、色とりどりの食材を使ったお正月料理を学ぶ内容で、26人が参加。鏡餅の形を描いたデコ巻きずしのほか、柿の葉寿司、花びら餅など5品の調理に挑戦しました。

講師は、テレビでもお馴染みの管理栄養士・樋口順子さん（山形市）と、矢作由美子さん（尾花沢市）。参加者は多彩なメニューを手際よく調理し、華やかなお正月料理を完成させました。



11/21～28 発想の数だけ作品が生まれる

町誕生60周年博覧会「Oe EXPO」のプレ展示イベントが、11月21日から28日にかけてまちなか交流館ATERRAで開かれました。「Oe EXPO」はOE REPOWER PROJECT（大沼兄昌代表・13区）が企画する町民参加型の博覧会で、来年2月に開催予定。今回はそれにさきがけての展示会となりました。

週末には、東北芸術工科大学の4人の学生が企画したワークショップも開催。工作や絵の着色、自分の出身地を紹介して交流を図るくじなど、ユニークな企画を多くの来場者が楽しんでいました。



11/29 ファンに支えられ節目達成

テルメ柏陵健康温泉館の累計来館数が650万人に到達し、これを記念して11月29日にセレモニーがおこなわれました。この日、650万人目の来館者となった菅原久昭さん・千恵子さん夫妻には、花束と入浴回数券などの記念品が贈呈され、町産業振興公社の松田社長と夫妻の3人がくす玉を割って、節目を祝いました。

温泉に入るために、週に2回ほど仙台市から山形に来ているという菅原さん夫妻。「テルメにはオープン当時から来ていて、低温のトロンサウナがお気に入りです」と話していました。



11/23 今度はおうちでチャレンジ!

町健康福祉課による「大江町産食材を使用したおやこの健康料理教室」が、11月23日に保健センターで開かれました。この教室は、町産食材を健康づくりに広く活用していただくため、今年度実施された「大江町産食材を使った料理コンテスト」の優秀作品を親子で実際に調理する企画です。

この日は親子合わせて17人が参加し、「秘伝豆のはんぺんフライ」などの秘伝豆料理にチャレンジ。参加者は親子で役割分担をして楽しく調理し、完成した料理を味わって「おいしかったので、家でも作ってみたい」と話していました。



12/1 白球を追って躍動!

第51回大江町ママさんバレーボール大会が、12月1日に体育センターで開催されました。今年は5チーム59人がエントリー。大会は9人制ルールでおこなわれ、町内の各地域でバレーボールを楽しんでいる女性の皆さんが、2つのリーグに分かれて総当たり方式で優勝を争いました。

試合では各チームとも声を掛け合い、見事なチームワークを発揮して好ゲームを展開。ネットを挟んで一進一退の攻防が繰り広げられました。決勝戦では藤田が本郷東ックスを下し、優勝の栄冠を勝ち取りました。



12/4 自分のペースで楽しく運動

町健康福祉課と大江スポーツクラブO-S T E Pの共催による健康づくり教室「スローエアロビク教室」が、2回にわたって体育センターで開催されました。スローエアロビクは、音楽に合わせてゆっくりと体を動かす運動で、冬場の運動不足を無理なく解消できるエクササイズです。

12月4日には、昨年度に引き続き県健康づくり推進機構の東海林美佐江さんを講師に迎えて実施され、29人が参加。リズムに乗って楽しみながらできることから大変好評で、「また機会があれば参加したい」といった感想が多く寄せられました。



12/8 一年の締めは山の幸とそばで

「農村食堂おぐら亭」による「おぐら亭感謝祭」が、12月8日に小倉交流館で開催されました。おぐら亭では、本郷西地区の主婦の皆さんによる「まんまの会」(渡辺よし子会長・小新)が、地元の山菜などを生かした季節限定の「若返りランチ」を提供しており、この日は恒例の小新そばとのコラボレーションメニューを100食限定で提供。予約で完売する盛況ぶりとなりました。

また、館内では紫陽花窯による干支の焼き物作りの体験コーナーも設けられ、多くの方が今年の干支のねずみをかかわいらしく作り上げていました。



12/8 和のテイストでクリスマス

町子ども会育成会連合会による「子ども会クリスマスパーティー」が、12月8日に中央公民館でおこなわれました。今回は町内の小学生22人が参加。クリスマスツリーをモールやリボン、鈴などできらびやかに仕上げ、館内に設置してクリスマスムードを盛り上げました。

その後、御菓子処蝶谷に勤務する富樫美奈子さん(中山町)を講師に迎え、クリスマスモチーフの和菓子作りにチャレンジ。色とりどりの餡などの材料を使い、見た目にもカラフルでおいしそうな、自分だけの和菓子ができあがりしました。

思い出の

まいぞうびん

My 蔵品

Selection

セレクション

これまでご紹介いただいた「My蔵品」の中から、各部門につき一つずつ選出し再度掲載します。

戸籍のまど

11月21日～12月15日大江町受付分

お誕生おめでとう

| 区名 | 氏名 | 性別 | 父母名 |
|-----|-------|----|-------|
| 9区 | 金山 礼 | 男 | 拓・美絵子 |
| みなみ | 菊地 渚生 | 女 | 亮太・妙子 |

ご冥福を祈ります

| 区名 | 氏名 | 年齢 |
|-----|--------|------|
| 伏熊 | 菊地 とき | (95) |
| 1区 | 菅野 卓志 | (89) |
| 藤田 | 熊谷まさの | (96) |
| 11区 | 公平千世子 | (89) |
| 藤田 | 鈴木 ちきみ | (95) |
| 小見 | 鈴木 堅三郎 | (72) |
| 9区 | 清野 トエ | (96) |
| 楡山 | 高橋 忠夫 | (97) |
| 三合田 | 柏倉 時子 | (88) |
| 深沢 | 鈴木 フジ子 | (89) |
| 荻野 | 最上 平七 | (87) |
| 9区 | 鈴木 チヨノ | (97) |
| 藤田 | 渡邊 花代 | (96) |

歴史的遺産部門

蓄音機

工藤吉蔵さん (山崎)

平成30年9月号掲載

工藤さんの祖父が大正時代に購入した蓄音機。およそ百年の時を経た今も、レコードを再生できるというのですから驚きです。



コレクション部門

映画パンフレット各種

村上正義さん (13区)

平成28年11月号掲載

村上さんが若いころから収集したコレクション。その総数は、掲載時点で1500冊以上! その一つひとつに思い出がこもっています。



昔ながらの道具部門

前びき (左)・大のこ (右)

鈴木孝さん (柳川平)

平成28年9月号掲載

ブナの木を切り倒すための「大のこ」と、大木を縦に割る(!)ための「前引き」。昔の林業のダイナミックさが伝わってきます。



手作り文化部門

わら細工各種

渡邊新蔵さん (橋上)

平成30年2月号掲載

かつて多くの農家が冬仕事で手掛けた「みの」や「わらじ」などのわら細工。今ではほとんど使われなくなってしまいました。



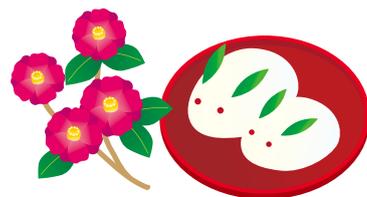
永遠の相棒部門

アコースティックギター

三嶋理生さん (11区)

平成29年1月号掲載

ギタリストの憧れであるマーチン社製ギター。三嶋さん愛用のD-35は今も素敵な音色を響かせています。



あけましておめでとうございます。令和になって初めてのお正月です。「広報おえ」今号の通算「707号」という数字も、何となく縁起が良さそうな気がするのは私だけでしょうか。今年は子年。小さくとも大山鳴動させるネズミを見習ってがんばっていきますので、本年もどうぞよろしくお願いたします。(伊藤智治)